

平成29年度 第23回アメリカ姉妹校短期留学 実施要項

1. 目的 姉妹校の生徒、教員および地域の人々との交流を通し、相互の異文化理解を深めるとともに本校生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る
2. 留学先 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ルーミス
デル・オロ高校 Del Oro High School
3. 期間 平成30年 2月 21日(水)～ 3月 14(水) (予定) 22日
4. 募集人員 現在1年次 または 2年次に在学する生徒 18名 (引率教員 1名)
5. 費用 339、530円 (予定)
費用に含まれるもの
 - 1) 交通費：成田空港発着の往復団体特別航空運賃、現地移動バス費用
 - 2) 研修費用：日程表に記載された研修費用、校外研修費用、現地でのコーディネート費用等
 - 3) 宿泊費用：原則1家庭1名のホームステイ滞在、及び手配関連費用
 - 4) 空港税：アメリカ出入国管理税・空港税、成田空港施設使用料
 - 5) その他費用に含まれないもの
 - 1) 海外旅行傷害保険
 - 2) 燃油サーチャージ(特別付加運賃)
 - 3) 成田空港までの往復の交通費
 - 4) 個人的性格の諸費用 (電話代・追加飲食費・超過手荷物料金等)
 - 5) 渡航手続き諸費用 (旅券印紙代、査証代、渡航手続代行料金等)
 - 6) その他
6. 担当旅行代理店 (株) アイエスエイ 首都圏第二支社
7. 応募条件
 - ①現在在籍している年次の前期における全科目の評価が4.5点以上であること
 - ② 参加への明確な意識を持っていること
8. 申し込み締め切り 平成29年 10月 13日 (金)
9. 選抜方法 面接 (日本語 / 英語)、書類審査 を行う

□ 旅程表

日数	月日	曜	都市名	交通機関	適 用
1	2月21日	水	成田空港 成田発 サンフランシスコ 着 サクラメント郊外 ルミス	15:00 17:15 発 UA836 09:30 着 15:40	所定の場所に集合し、搭乗手続きを行う 全日空機にてサンフランシスコへ。 到着後、入国手続。昼食 (In-Out Burger)。 その後学校へ行き、ホストファミリーと対面。 ホームステイ開始。《 ホームステイ 》
2	2月22日	木	〃		午前:学校案内、英語クラス ESL 午後:授業参加 夜:ウェルカム夕食会 《 ホームステイ 》
3	2月23日	金	〃		朝:朝食会、午前:英語クラス ESL 午後:ルミス市内ウォーキングツアー 《 ホームステイ 》
4	2月24日	土	〃		終日 ホストファミリーと過ごす 《 ホームステイ 》
5	2月25日	日	〃		終日 ホストファミリーと過ごす 《 ホームステイ 》
6	2月26日	月	〃		終日 サクラメント市内見学
7	2月28日	火	〃		午前:英語クラス ESL 午後:授業参加 《 ホームステイ 》
8	2月29日	水	〃		午前:英語クラス ESL、日系一世設立協会訪問 午後:授業参加 《 ホームステイ 》
9	3月1日	木	〃		午前:英語クラス ESL 午後:授業参加 《 ホームステイ 》
10	3月2日	金	〃		午前:英語クラス ESL 午後:フォルサム市内見学 《 ホームステイ 》
11	3月3日	土	〃		終日 ホストファミリーと過ごす 《 ホームステイ 》
12	3月4日	日	〃		終日 ホストファミリーと過ごす 《 ホームステイ 》
13	3月5日	月	〃		午前:英語クラス ESL 午後:日本文化プレゼンテーション 《 ホームステイ 》
14	3月6日	火	〃		午前:英語クラス ESL / 小学校訪問 午後:授業参加 《 ホームステイ 》
15	3月7日	水	〃		終日 サンフランシスコ市内見学《 ホームステイ 》
16	3月8日	木	〃		午前:英語クラス ESL 午後:授業参加 《 ホームステイ 》
17	3月9日	金	〃		午前:英語クラス / さよならパーティー準備 夜:さよならパーティー 《 ホームステイ 》
18	3月10日	土	〃		終日 ホストファミリーと過ごす 《 ホームステイ 》
19	3月11日	日	〃		終日 ホストファミリーと過ごす 《 ホームステイ 》
20	3月12日	月	〃		午前:英語クラス ESL 午後:授業参加 《 ホームステイ 》
21	3月13日	火	サンフランシスコ	06:00 12:10 発 UA837	ホストファミリーと別れ空港へ 成田へ出発
22	3月14日	水	成田着	15:10 着	到着後、入国・通関審査を済ませ、空港解散

アメリカ姉妹校短期留学事前指導日程

回	実施日	内 容	時 間	備 考
1	11/15 (水)	連絡網作成、保護者宛文書配付 パスポート関係指示 助成金	16:30 ~17:30	LL2
2	21 (火)	グループプレゼンテーション関係 前回派遣生モデルプレゼン、内容検討	15:45 ~16:50	LL2
3	24 (金)	保護者説明会 ① (生徒同席)	15:50 ~16:50	LL2
4	12/1(金)	提出書類確認	12:50 ~13:10	学習室 1
5	11 (月)	生活 I (ホームステイ関係心 構え 現地での出し物検討・準備)	12:30 ~14:30	LL2 (考査最終)
6	14 (木)	生活 II (昨年派遣生との質問 会)	15:10 ~16:20	LL2、 学 2,3 (45分授業)
7	21 (木)	英会話講座 I	13:30 ~15:00	LL2、学 1 国文室 (4時間 45分)
8	1/11(木)	英会話講座 II	15:40 ~16:50	LL2 学 1 国文室 (4時間)
9	16 (火)	生活III(ホームステイ、持参物 関係)	15:40 ~16:50	LL2
10	18(木)	英会話講座 III	15:40 ~16:50	LL2 学 1 国文室
11	23 (火)	各グループ別プレゼン発表会	15:40 ~17:10	LL2、 学 2,3
12	25 (木)	保護者説明会②(生徒同席) 業者からの最終オリエンテーシ ョン	15:50 ~16:50	LL2
13	2/ 8 (木)	現地での出し物発表会 確認オリエンテーション	15:40 ~16:50	LL2 研修室 B
14	20 (火)	結 団 式 最終オリエンテーション	15:40 ~16:30	LL2

派遣校 所在地



Del Oro High School
3301 Taylor Road Loomis
CA, 95650 USA

平成 30 年 2 月 21 日、1 年生 8 人、2 年生 10 人、計 18 人と引率教員 1 名で、成田空港からカルフォルニア、サクラメントに向けて出発した。

《現地コーディネーターと現地校》

今年度初めて松戸国際高校を担当していただいたインターナショナル・ホームカミングのキャロルアンさんは、とても社会的で面倒見の良い方でした。生徒たちも、そして教諭である私も、お母さんのように頼りにしていて、どんなトラブルも迅速且つ親切丁寧に対応をしてくださる短期留学中のとても心強いパートナーでした。



毎年、このプログラムで訪問させて頂いているデル・オロ高校は公立高校ですが、中高一貫校で、学校の設備も大変充実した素晴らしい学校でした。



一番印象的だったのは、“wing”という生徒会のような授業を履修している生徒たちが、松戸国際高校の生徒たちがデル・オロに通うにあたり、ホームステイ先を探し、ブレイクファスト交流会や BBQ 交流会を企画し、大変親切に私たちを受け入れてくれたことでした。

《学校の授業》

午前中はメリッサ先生の ESL のクラス、午後実際のクラスに参加させてもらいました。ESL では、ロールプレイやクイズなど、様々なアクティビティを通じ楽しく英語を学びました。



午後の選択クラスは、実際のデル・オロのクラスに参加させてもらい、スペイン語・セルフディフェンス・クッキング・心理学等…様々なクラスで学びました。一番興味深かった授業は、地学の授業で「卵を割れることなく飛ばすにはどうしたらよいか」という実験をしており、ティッシュを何層にも卵に巻いてみたり、ネバネバのピーナツバターの中に入れて固定してみたりと自由な発想を生かして取り組む様子に大変感銘を受けました。



《校外学習》

学校の以外の様々な場所に出かけました。サクラメント、サンフランシスコ、フォルサム、小学校や消防署、教会に併設してあるシニアセンター等に出かけることで、学校では関わることのできない様々な人と話したり、初めてのものを見たり、大変貴重な経験ができました。



《ホームステイ先》

私が滞在させて頂いた suchmel ファミリーは、元気で明るいユーモアたっぷりのメリッサお母さんと、チョコレートブラウニーを作らせたら敵なしのブラッドお父さん、オシャレでおませなで頑張り屋さんのシニアの strong ジェニー、ジブリやゲームなど日本大好きなライアの 4 人家族。

この短期プログラムが、生徒だけでなく私にとっても大変有意義であったのは、真にこの家族のお陰である。



《message to my students》

I can't believe one month has already passed since we got back here. I hope you all still keep in touch with your host families and sometimes think about the life over there, even though you have returned to your busy lives in Japan. I just want to tell you about three things which you should keep in mind.

First, I don't want you to forget what you thought and what you learned in America. Time flies and we might think it was long time ago at the end. However, you definitely had a very valuable experience which can deepen your thoughts and influence who you will be. Therefore, I want you to put those experiences and memories into your future vision.

Second, I want you to be kind and good to people all the time. It was the first time for many of you to spend a few weeks in a foreign country, so you might have faced many difficulties and troubles. Your host family and friends helped and supported you all the time, and you realized how kind they are and how appreciated you felt, so I want you to actively help people who are in trouble because you are one who knows the value of other peoples' kindness.

Third, I want you to know and learn Japan. I know some of you are really attracted by American life and culture. I'm really glad to hear it, because the program meant a lot to you. No matter how much you admired America though, the truth is that you are Japanese. I would like you to be proud of who you are and proud of your nationality. It is uncool that you can't explain Japanese culture and the Japanese way of thinking.

These are my messages based on the program we joined in together. I hope a bright future is waiting for you. PEACE!!